

令和5年1月

「佐賀大学キャンパスマスタープラン2022（案）」に関する 意見募集の結果について

施設マネジメント委員会
委員長 山崎 英司

「佐賀大学キャンパスマスタープラン2022（案）」について学内の教職員からのご意見を募集した結果、合計14件のご意見をいただきました。ご協力いただきました方々へ厚く御礼申し上げます。

実施方法やご意見の概要については以下のとおりです。今後ともキャンパス整備についてご協力の程よろしく願いいたします。

1. 意見募集の実施方法

募集期間	令和4年12月15日～令和4年12月28日
周知方法	(学 生) ライブキャンパスによるメール配信 (教職員) 佐賀大学からのお知らせによるメール配信
意見提出方法	Microsoft Forms による

2. 提出意見数

14件（学生8件、職員4件、教員2件）

3. ご意見の概要

別紙のとおり

※今回のご意見を踏まえた計画の修正は特にありませんが、いただいたご意見は今後のキャンパス整備の参考とさせていただきます。

○佐賀大学キャンパスマスタープラン2022(案)に対するご意見およびコメント

別紙

整理番号	所属	学部	学年	ご意見	コメント
1	学生	経済学部	3年	非常にいいと思いました。変革、改善、発展、発達は楽しみです。応援しています。	ありがとうございます。
2	学生	先進健康科学研究科	大学院	メインストリートの押しチャリは、教養や経済等の棟と農学部や理工学部の棟への移動が間に合わなくなるように感じた。ゾーニングすることは大事だと思うので、歩行者側の道をきちんと整備した上で真ん中の道に歩行者が入らないように徹底する、自転車も進む方向に対して分ける、等が良いのではないかと感じた。	自転車の押しチャリは、共通講義棟をキャンパスの中心に集約整備した後に実施することを想定しており、長期的な提案としています。
3	学生	医学部	6年	入学以来ずっと工事と共に過ごした気がするのですが、できれば授業するときは工事する建物の隣ではなく、騒音から離れたところでの授業になるようにしていただければと思います。隣だったときは年単位で授業の音や声がほぼ聞こえないことが多かったので、困りました。	工事の実施についてご迷惑をおかけし申し訳ありません。可能な限り関係者と調整を行い影響の低減に努めてまいります。
4	学生	理工学部	2年	メインストリートを安全面なども考慮すると、歩行者を中心に考えたい気持ちも分かるが、自転車側のことをもう少し考えて欲しい。理工学部大学院棟から教養棟までかなりの距離があり、前の講義が時間いっぱいあった時は最短距離での移動(メインストリートを通る方が近い)で次の講義ギリギリに到着します。どちらも必修科目であり、駐輪場が教養棟前は混雑しているため、少し離れた駐輪場に停めるなどしていますが、毎回の移動に苦労しています。可能であればもう少し自転車の動線を考えていただくか、学校の必修の入れ方自体を変えて行かなければ新生は毎回苦しんで行くことになると思います。	自転車の押しチャリは、共通講義棟をキャンパスの中心に集約整備した後に実施することを想定しており、長期的な提案としています。
5	学生	経済学部	4年	写真やイラストが程よくあって、方針や現状がわかりやすい。	ありがとうございます。
6	学生	理工学部	2年	良いと思います。	ありがとうございます。
7	学生	農学部	4年	仕方ないと思うが、本庄キャンパスの研究室より別キャンパスの方が設備や待遇が悪いと感じる。遅くまで実験しにくそうだと不憫。	貴重なご意見ありがとうございます。本庄キャンパスのみではなく、全キャンパスを対象に長期計画に基づいた計画的整備を行っています。
8	職員	-	-	築山庭園は鍋島キャンパス内に設置のキッズパレット保育園の園児も利用しているので、移設にあたっては交通面での安全と保育園との動線の良さを両立していただけると嬉しいです。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の計画の参考とさせていただきます。
9	職員	-	-	教職員と学生の駐車場と駐輪場はすべてキャンパスの端か外に大規模なものを集中設置し、この駐車場および駐輪場からキャンパスへは多人数乗車可能な屋根付き電動アシストベロタクシー利用(キャンパス内巡回バスのように使う)。キャンパス内には車と自転車は入れさせず、徒歩かベロタクシー移動のみ。ベロタクシーは車体のみ購入し運転手は雇用せず、学生か教職員が漕いで運転し、誰かを乗客として載せた場合には漕いだ人には生協で使えるポイントがつく。切れたバッテリーをバッテリーステーションで交換してもポイントがつく(ICチップ読み取り機を設置し学生証職員証をかざすとタイヤのロック解除と搭乗者の確認ができるようにすれば盗難の恐れはないし盗まれても犯人がわかる。運転手になるには登録制とし、登録時に保証金とお金を預かる。漕げば小遣い稼ぎになることで学生が積極的に漕ぐことにつながり運転手不要になり人件費ゼロで運用できる。所定のスペースで運転手が降りないとアラームが鳴り、預けたお金から違反金が引かれ、卒業時に返ってくる預けたお金が減るようにすれば駐輪マナーも維持できる)。歩行者を守るなら歩行者かベロタクシー以外はキャンパス内に存在しないようにするのが一番だし、不満が噴出している各学部の駐車場不足問題が一気に解決すると思います。(業者は大物の納品のときのみ入構可)。歩行者自転車、車のイライラが無くなり、キャンパスが楽しい雰囲気になるんじゃないかと思えます。ゼロエミッションでアピール材料にもなります。	貴重なご意見ありがとうございます。新交通システムの導入について、今後の計画の参考とさせていただきます。

整理番号	所属	学部	学年	ご意見	コメント
10	職員	-	-	<p>P37駐車場について「第15編 施設 > 国立大学法人佐賀大学本庄地区構内交通規程」により駐車区分により所定の駐車場が指定されているわけだから、それぞれの区域の客観的な数字を出し、それに当てはめた駐車場の課題を明示するべきでないか。・駐車場 約800台 → 各駐車場ごとの台数・駐車場面積・各駐車区分の職員数や学生数 それによる学生や従業員数の比率・立地を鑑み駐車場の割振りの見直しや整備等。</p> <p>■経済・教育学部棟西側駐車場 駐車区分:経済学部の学生が使用する自動車 学務部(教育企画課, 教務課(美術館担当及び留学生交流室を除く。), 入試課), アドミッションセンター, 経済学部及び保健管理センター職員の使用する自動車 外来者の使用する自動車 駐車台数: ?台 全体面積: ? 該当者数: 職員142人 学生1105(経済学部1年次263 2年次265 3年次282 4年次295 学務部102 経済学部40) ■事務局西側駐車場 駐車区分:農学部の学生が使用する自動車 企画評価課, 監査室, デジタルトランスフォーメーション推進室, 附属図書館及び総合情報基盤センター職員の使用する自動車 外来者の使用する自動車 駐車台数: ?台 全体面積: ? 該当者数: 職員52人 学生615(農学部1年次147 2年次158 3年次154 4年次156 企画評価課13 監査室4 デジタルトランスフォーメーション推進室3 附属図書館17 総合情報基盤センター15) ■事務局北側駐車場 駐車区分:総務課, 人事課, 財務部及び環境施設部職員の使用する自動車 修学のため来学する者の使用する自動車 駐車台数: ?台 該当者数: 130人(総務課53 財務課39 環境施設部38) (参考) ■職員数: ・【12/8(木)締切・人事課】ハローワークアカウント作成にかかる必要事項について(照会) 「ハローワークアカウント作成に係る必要事項.xlsx」・配置図 ■学生数: ・教育情報の公表について > 収容定員・在学生数(学部・大学院) http://www.saga-u.ac.jp/gaiyo1/gaiyodata/gakuseisu.pdf</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。駐車場の現状として一時入構車両による影響が大きく、まずは、一時入構車両の低減に向けた対策を実施する予定としています。キャンパスマスタープランについてはこれらの対策の効果を踏まえながら、柔軟に対応いたします。</p>
11	職員	-	-	<p>付-8 市道貝田線の計画についてのお願いです。将来の市道貝田線の拡幅について十分な検討をお願いします。情報基盤センター北の駐車場へのアプローチは、敷地を流れる川沿いの新設道路からのアプローチと限定すれば車での教職員の通行はなくなります。北の民有地を含め将来市道貝田線が道路拡幅された場合、市道貝田線の住民以外の一般市民の通行が増え、車の交通量が増すことにより川西、川東団地の歩行者、自転車利用者の横断アクセスに影響が出ないか心配です。第2守衛室から北の市道貝田線の通行を止めるのが一番望ましいが、出来なければ道路拡幅しないほうが大学の導線としては学生、教職員の安全の面では望ましいと考えます。引き続きご検討をよろしくお願いします。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。市道貝田線は佐賀市で管理している道路ですが、歩行者、自転車、自動車いずれも利用者が多い道路ですので、今後も佐賀市と協議を行い、安全面に配慮した計画を進めていく所存です。</p>
12	教員	農学系	-	<p>駐車場の一部(事務局の北、等)は、二階建て構造にできないでしょうか？</p>	<p>立体駐車場の整備は技術的に可能ですが、駐車場の現状として一時入構車両による影響が大きく、まずは、一時入構車両の低減に向けた対策を実施する予定としています。</p>
13	学生	理工学部	1年	<p>パーソナルスペースを増やしたとして、地域住民などとの交流が増えるとは思えない。佐賀大学関係者も佐賀の住民も基本的な挨拶のできない人が多く、そのような人たち同士では交流のきっかけ、交流をしたいと思う意思すら出来はしないと思う。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。交流を生み出すためには、大学関係者との接点を設けるソフト面の工夫も大事だと思います。また、キャンパスについては地域のみならず、学生間・教員間等あらゆる方との交流につながるような整備を目指していきたいと考えております。</p>
14	教員	理工学系	-	<p>緑地に関してですが、ある程度の大きさの建物の周辺(特に南側)にはそれぞれ樹が植えられていた方が、熱の吸収、まぶしさの低減、癒しの点から望ましいと思います。(例:理工学部5号館, 6号館) 他に、キャンパスマスタープランとは直接関係しないことで恐縮ですが、「佐賀大学前」交差点の標識において英語表記が Saga National University とされているのが気になります。(ストリートビューで確認できます。) Saga Prefectural University へ向けての布石ではないとは思いますが、</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。植栽についてはご指摘の内容に加え西日対策や二酸化炭素排出量の低減、道路からの騒音低減、らくうしょう並木道や桜並木などの象徴的空間の形成、癒しと憩いを与える効果等様々であり、状況に応じて有効に活用したいと考えています。また、交差点の標識に関しては大学管理ではないので、コメントを差し控させていただきます。</p>